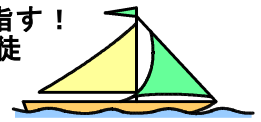


学校教育目標 「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の育成を目指す！

①求めて学ぶ生徒 ②心を高める生徒 ③たくましい生徒



# 小値賀物語3 第20話



令和4年10月24日発行

小値賀町立小値賀中学校 校長 池田 英二

今回の小値賀物語3第20話では、最近の学校の様子をお伝えします。先日実施した2学期避難訓練、青少年劇場「狂言」、授業参観・学年PTA、PTA親子清掃の模様についてお知らせいたします。最近、秋も深まり、朝夕には冷え込み、肌寒く感じます。風邪などひかれませんように、どうぞご自愛ください。

## 2学期避難訓練（10月17日月曜日4校時）

地震発生を想定した中学校の避難訓練を行いました。この訓練の目的は、①「地震発生による非常事態時の避難行動を知ること」②「生徒が避難訓練の意義を理解して、安全に避難訓練ができるようにすること」です。



地震速報と揺れの音の放送の後、生徒は机の下に避難して静かに待ちました。その後、担当職員が校舎内の安全点検を行い、避難を開始しました。生徒は、頭部を守りながら迅速に3分以内に避難することができ、たいへん立派でした。その後、消防署長の山田浩一様からお話がありました。「避難において、一番大切なことは【全員が無事に生き残ること】であるので、中学生は、【自分の身を守り、他の人も助けることができる存在であることを自覚して、お年寄り等への声掛けとお年寄りの薬等の確認もすること】や学校がある日の避難の時には【小学生を安全に導き、助けること】も頭に入れて行動するように。そしていざという時にすぐに動けるように日頃の備えが大切です。」という話がありました。最後に、「煙体験ハウス」の実習があり、生徒にとって貴重な体験になりました。今回の避難訓練では、消防署の署長 山田様を始め、寺園様 岩坪様 小値賀町の総務課の坂井様 大田様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 青少年劇場「狂言」（10月18日火曜日2・3校時）

青少年劇場で「狂言」を鑑賞しました。「狂言」は、ユネスコの制定する世界無形文化遺産に認定されていて、およそ650年もの昔、室町時代に誕生しました。その時代の人々の日常生活をテーマに会話等で展開する伝統芸能です。



最初の作品は、「蝸牛（かたつむり）」でした。セリフがとても面白く、小中学生からも自然に笑いがおきました。2作目は、「痺（しびり）」でした。急な客人を招待するために、主人は召使いに酒の肴を買ってくるように命じます。いつもこき使われている召使いは足が痺れて動けないのでお遣いに行けないと嘘に嘘を重ねます。このような面白いストーリーでした。私も笑いの芸能「狂言」を初めて間近で観て、伝統芸能の素晴らしさに感動しました。これらの2作品を鑑賞した後に、小中学生の各学級の代表が狂言の体験をさせていただきました。

小値賀町の児童生徒にとって、日本の伝統芸能を知るとても良い機会になりました。



## 授業参観・学年PTA（10月20日木曜日）6校時



1年1組は英語科 脇山先生  
「3人称単数」 2年1・2組  
は国語 森先生「聞き上手になろう」  
3年1組は数学 井手先生「平行線と比」  
3年2組理科 高原先生「電流が流れる水溶液」  
3年3組社会 江川先生「国の民主政治と三権分立（裁判所）」でした。どの授業



でも課題や目標を設定し、生徒が主体的に取り組む授業が実施されていました。また当日は、第2回小値賀町学校運営協議会の実施日でしたので委員の皆様にも授業を参観していただきました。学年PTAでは、学校での様子や家庭での様子等の情報交換、修学旅行等の行事や進路など、学年に応じたテーマで話し合いが行われました。これからも、Parents（親）とTeachers（教師）がAssociation（組織）として協力しあいながら、子どもの成長を促していきたいと思っております。ご多用の中多くの保護者の方々にご参加いただき、大変ありがとうございました。

## PTA親子清掃（10月23日日曜日）



昨日、秋晴れの天気の中、保護者の皆様 地域の皆様 生徒 教職員のご協力を得て、PTA親子清掃を無事に実施することができました。今年は、学校運営協議会の地域コーディネーター山本千明様に呼び掛けをいただいて、地域の有志の方々にも参加していただきました。心より感謝申し上げます。

枝払い、草刈り、樹木伐採、校舎雨どいの掃除等、日頃教職員と生徒とでは、なかなか掃除できなかった場所がおかげさまで見違えるようにきれいになりました。軽トラックで来ていただいて、草を処理場まで持って行ってくださったり、草刈り機や重機まで使用して作業に当たってくださったりする方もいらっしゃって、本当に助かりました。保護者の皆様と地域の皆様のご協力のありがたさを強く感じました。お休みの日にもかかわらず早朝からの作業、本当にありがとうございました。大変お疲れ様でした。